

# 都民のスポーツ活動に関する実態調査〈概要〉

令和5年3月

## 調査実施の概要

### 1 調査目的

都民のスポーツ活動を把握することにより、今後の東京都におけるスポーツ振興のための目標設定や施策の検討に活用することを目的とする。

### 2 調査項目

- (1) スポーツ活動全般
- (2) するスポーツ
- (3) みるスポーツ
- (4) 支えるスポーツ
- (5) パラスポーツ（障害者スポーツ）への関心度等

### 3 調査設計

- (1) 調査対象：東京都全域に住む満18歳以上の男女個人
- (2) 標本数：4,000標本
- (3) 標本抽出方法：住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出法
- (4) 調査方法：郵送法（郵送送付・郵送回収、WEB〔インターネット〕回答併用）
- (5) 調査期間：令和4年10月1日～10月31日
- (6) 調査実施機関：一般社団法人輿論科学協会  
(注) 令和元年調査までは、3,000標本、個別訪問面接聴取法で実施

### 4 回収結果

- (1) 有効回収標本数（率）1,688標本（42.2%）〔うち郵送1,053標本、インターネット635標本〕
- (2) 未完了標本数（率）2,312標本（57.8%）

東京都生活文化スポーツ局

# 調査結果の概要

※nは質問に対する回答者数で、比率算出の基数を示す

※個々の比率の合計は、全体の計に一致しないことがある

※M. A. はいくつでも選択

※M. T. は回答の合計をnで割った比率

※令和元年までの調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年以降は郵送法（インターネット回答併用）で実施したため、調査結果を単純に比較することはできないので留意が必要

## 1 スポーツ活動全般

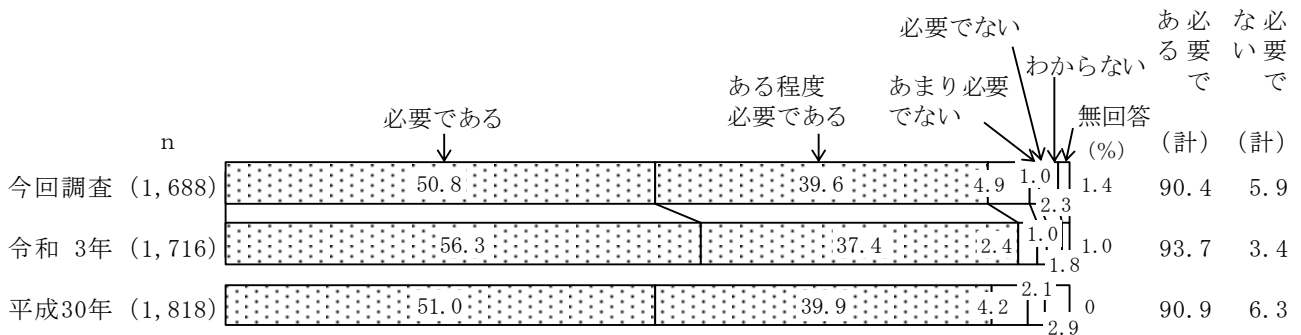
### (1) スポーツに対する意識：

スポーツ活動全般（実施だけでなく、観戦、支援、スポーツイベントの開催を含む）についてどの程度必要だと思うか聞いた。

（本文P3～P8）

・『必要である（計）』は90%（令和3年より3ポイント減少）

・『必要でない（計）』は6%（令和3年より3ポイント増加）



（注1）『必要である（計）』は「必要である」「ある程度必要である」の合計

『必要でない（計）』は「必要でない」「あまり必要でない」の合計

（注2）令和3年は「都民のスポーツ活動に関する実態調査（令和3年10月調査）」

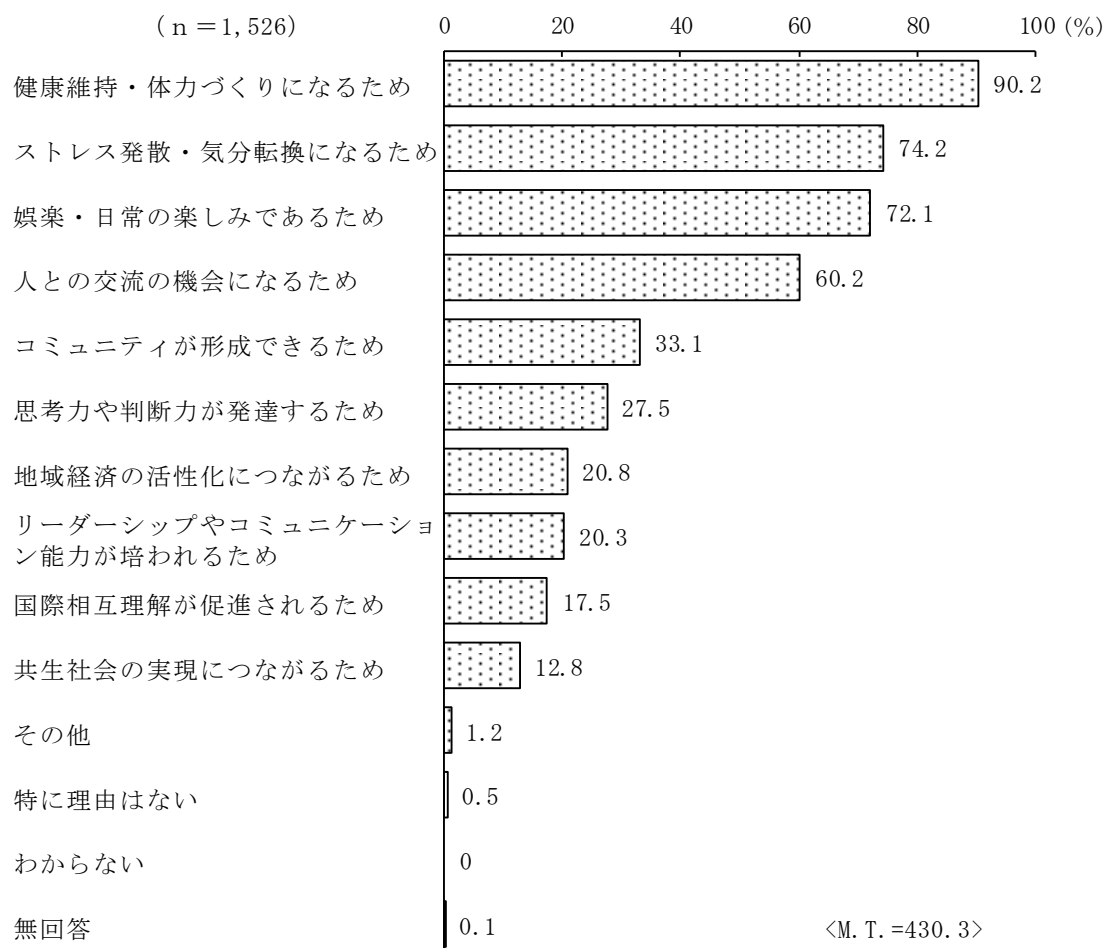
平成30年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査（平成30年9月調査）」

(2) スポーツが必要と考える理由：

スポーツ活動全般が必要であると答えた人（1,526人）に、必要と考える理由を聞いた。（M. A.）

（本文P9～P10）

- ・「健康維持・体力づくりになるため」が90%でトップ
- ・「ストレス発散・気分転換になるため」74%、「娯楽・日常の楽しみであるため」72%が続く

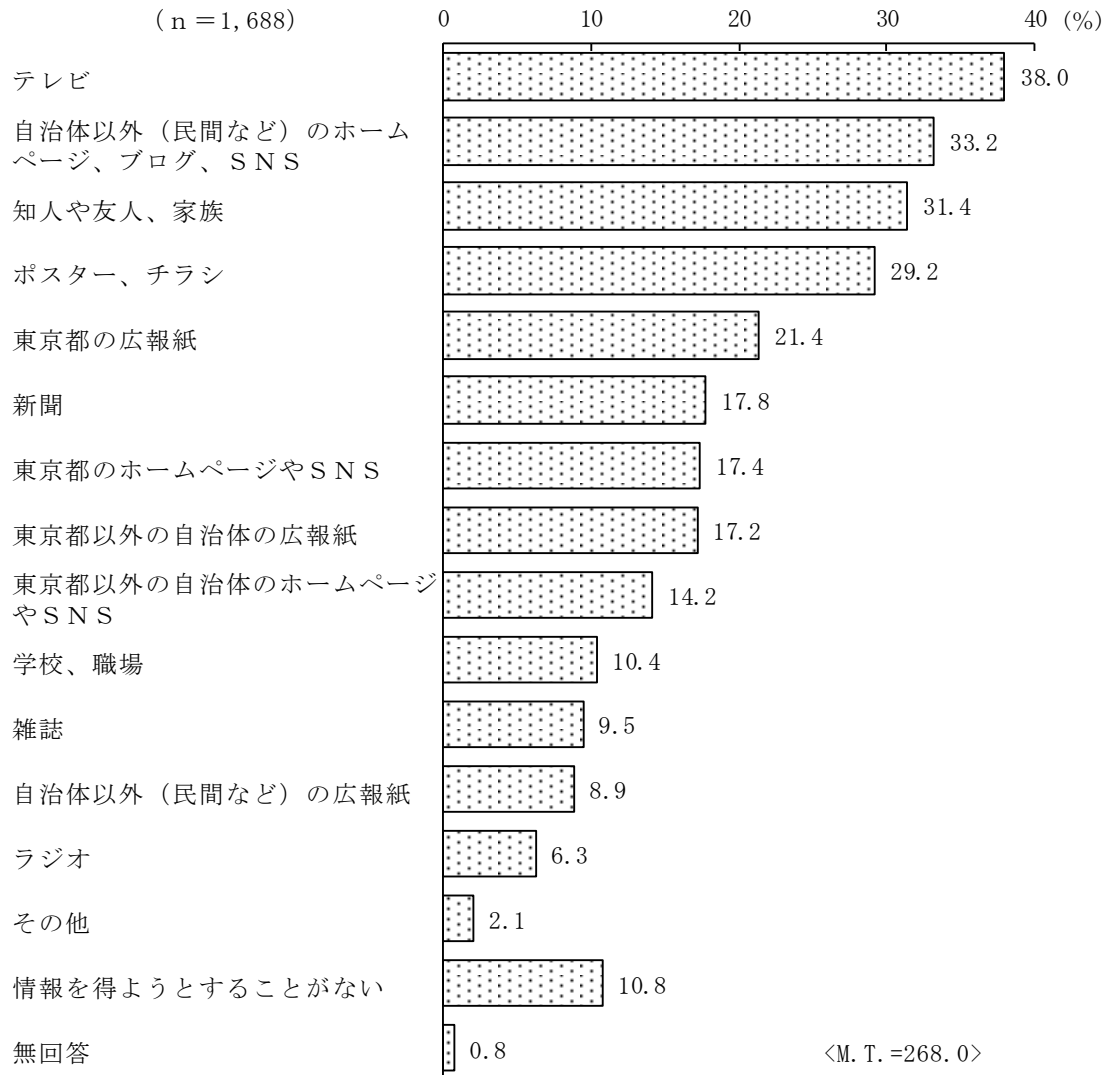


(3) スポーツ情報の入手先：

スポーツの情報を得る場合、その情報をどこから得るか聞いた。(M. A.)

(本文P11～P13)

- ・「テレビ」が38%でトップ
- ・「自治体以外（民間など）のホームページ、ブログ、SNS」33%、「知人や友人、家族」31%が続く



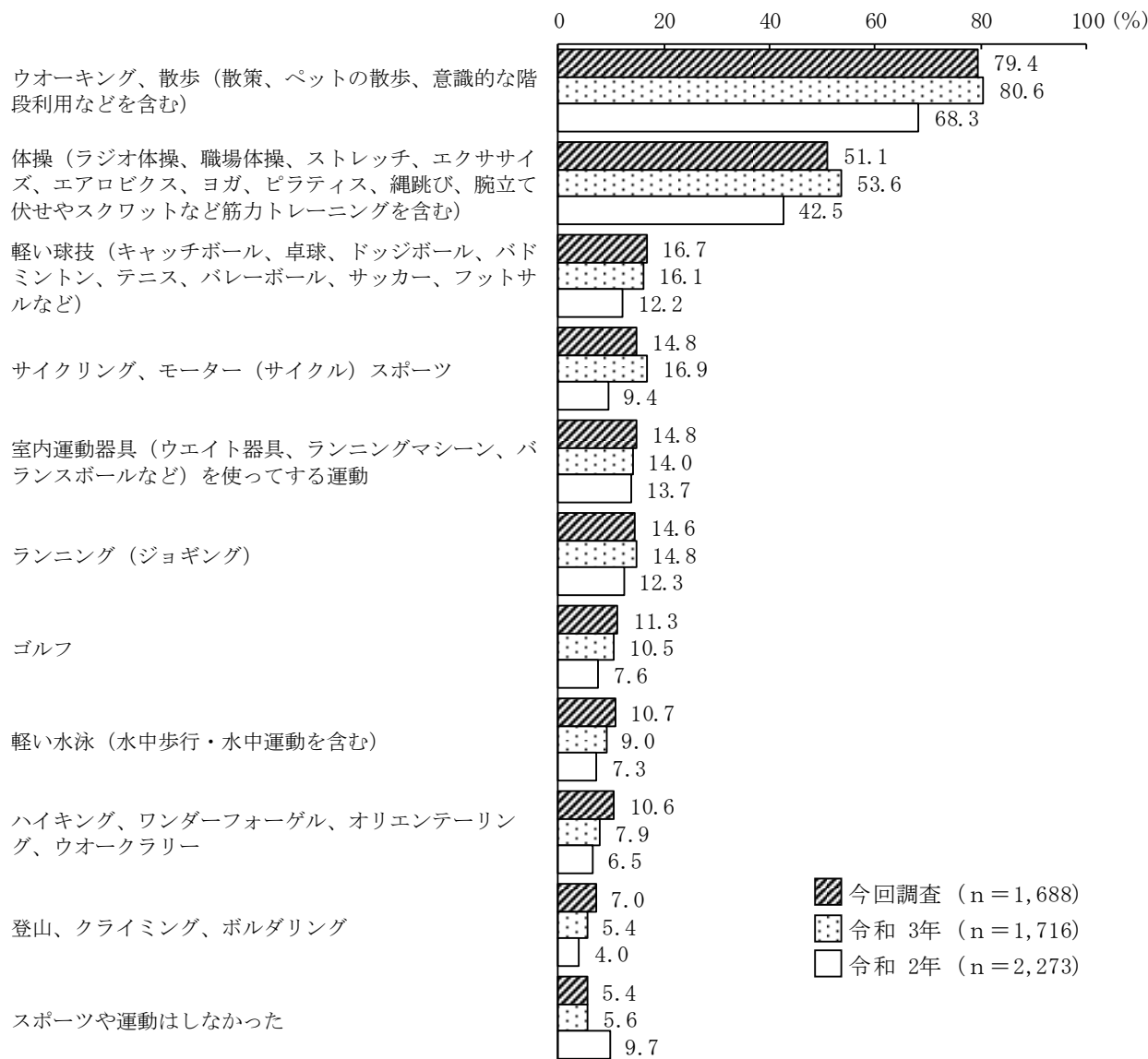
## 2 するスポーツ

### (1) スポーツ・運動の1年間の実施状況：

この1年間に実施したスポーツや運動の種目を聞いた。(M. A.)

(本文 P 14～ P 21)

- ・「ウォーキング、散歩」が79%でトップ（令和3年より1ポイント減少）
- ・「体操」51%、「軽い球技」17%が続く
- ・「スポーツや運動はしなかった」は5%（令和3年とほぼ同様）



(注1) 選択肢は全39種目のうち上位10種目と「スポーツや運動はしなかった」

(注2) 「軽い球技（キャッチボール、卓球、ドッジボール、バドミントン、テニス、バレーボール、サッカー、フットサルなど）」は令和3年までは「軽い球技（キャッチボール、卓球、ドッジボール、バドミントン、テニス、バレーボール、サッカー、フットサル、ボッチャなど）」

(注3) 「登山、クライミング、ボルダリング」は令和3年までは「登山（クライミング）」

(注4) 令和3年は「都民のスポーツ活動に関する実態調査（令和3年10月調査）」

令和2年は「都民生活に関する世論調査（令和2年9月調査）」

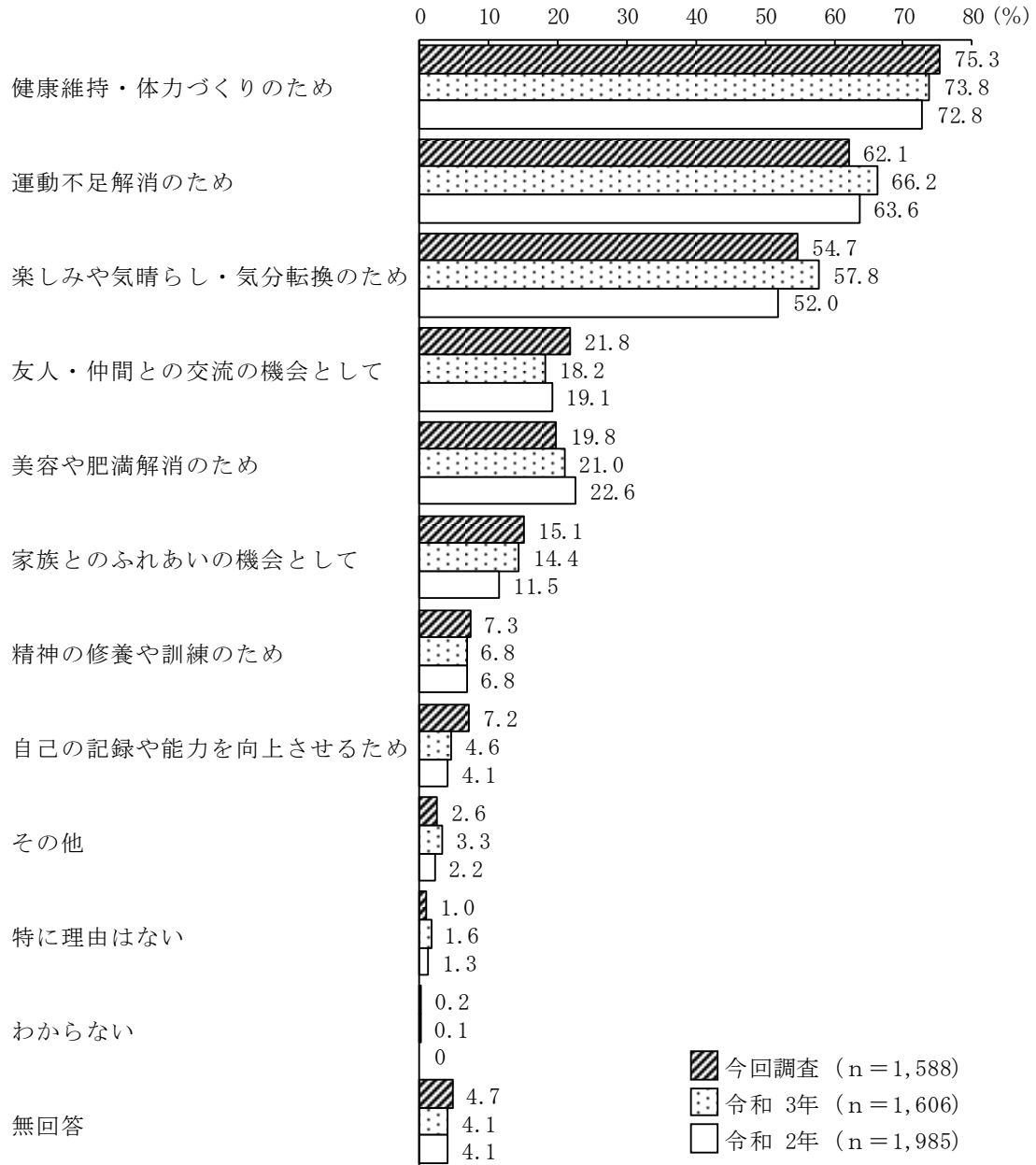
(2) スポーツ・運動を実施した理由：

この1年間にスポーツや運動を実施したと答えた人（1,588人）に、実施した理由を聞いた。

(M. A.)

(本文P22～P24)

- ・「健康維持・体力づくりのため」が75%でトップ（令和3年より2ポイント増加）
- ・「運動不足解消のため」62%、「楽しみや気晴らし・気分転換のため」55%が続く



(注) 令和3年は「都民のスポーツ活動に関する実態調査（令和3年10月調査）」

令和2年は「都民生活に関する世論調査（令和2年9月調査）」

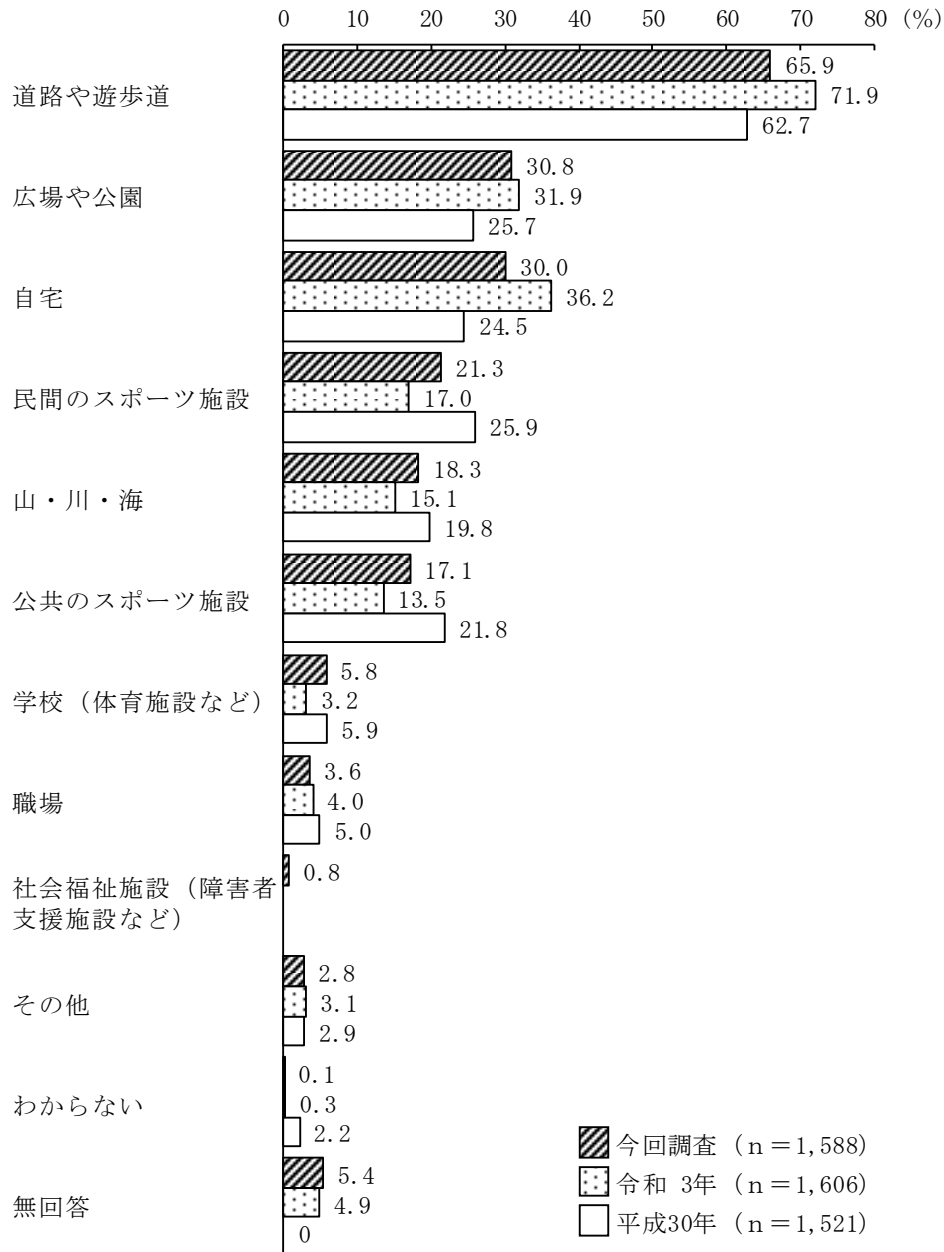
(3) スポーツ・運動を実施した場所：

この1年間にスポーツや運動を実施したと答えた人（1,588人）に、実施した場所を聞いた。

(M. A.)

(本文P25～P27)

- ・「道路や遊歩道」が66%でトップ（令和3年より6ポイント減少）
- ・「広場や公園」31%、「自宅」30%が続く



(注1) 「社会福祉施設（障害者支援施設など）」は今回調査から追加

(注2) 令和3年は「都民のスポーツ活動に関する実態調査（令和3年10月調査）」

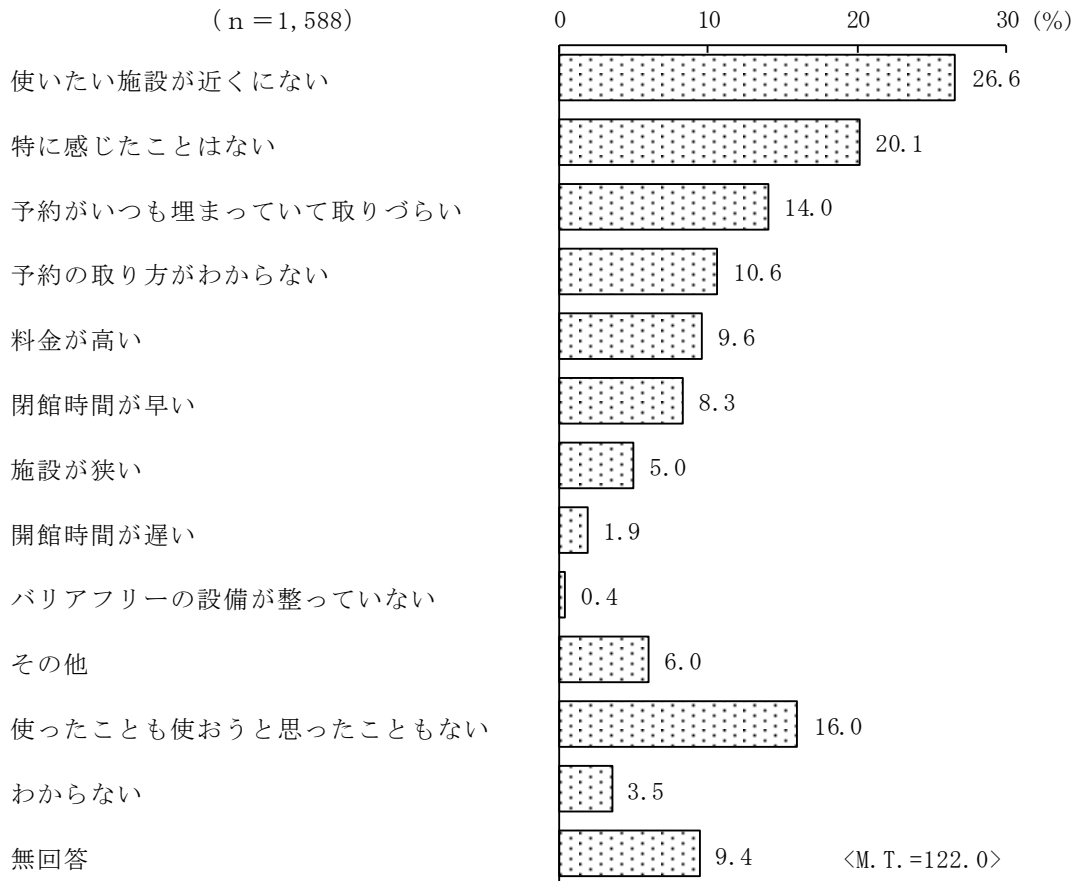
平成30年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査（平成30年9月調査）」

(4) 公共のスポーツ施設の利用で感じたこと：

この1年間にスポーツや運動を実施したと答えた人(1,588人)に、公共のスポーツ施設について、利用したときや利用しようと思ったときに感じたことを聞いた。(M. A.)

(本文P28～P31)

- ・「使いたい施設が近くにない」が27%でトップ
- ・「特に感じたことはない」20%、「予約がいつも埋まっていて取りづらい」14%が続く





(5) スポーツ・運動を実施した日数：

この1年間にスポーツや運動を実施したと答えた人(1,588人)に、スポーツ・運動を実施した日数を聞いた。

(本文P32～P36)

- ・「週3日以上(年151日以上)」が29%でトップ(令和3年より6ポイント減少)
- ・「週に2日(年101日～150日)」21%、「週に1日(年51日～100日)」20%が続く

n	実施した日数							無回答
	週3日以上 (年151日以上)	週に2日 (年101日～150日)	週に1日 (年51日～100日)	月に1～3日 (年12日～50日)	3ヶ月に1～2日 (年4日～11日)	年に1～3日	わからない	
今回調査 (1,588)	29.4	20.7	19.9	13.8	5.1	2.3	5.4	
令和3年 (1,606)	35.7	20.5	17.4	15.0	3.6	1.4	4.5	
令和2年 (1,985)	30.7	19.9	18.6	15.5	4.8	2.7	5.5	

(注) 令和3年は「都民のスポーツ活動に関する実態調査(令和3年10月調査)」  
 令和2年は「都民生活に関する世論調査(令和2年9月調査)」

[スポーツ・運動の実施頻度]

スポーツ・運動の1年間の実施状況とスポーツ・運動を実施した日数のそれぞれの回答から、スポーツ・運動の実施頻度を分類した。

(本文P37～P40)

- ・『週に1日以上実施(計)』は66%(令和3年より3ポイント減少)
- ・『週に1日未満実施(計)』は20%(令和3年より1ポイント増加)
- ・「スポーツや運動はしなかった」は5%(令和3年とほぼ同様)

n	実施頻度				無回答
	週に1日以上実施	週に1日未満実施	実施したが頻度はわからない	スポーツや運動はしなかった	
今回調査 (1,688)	65.9	19.9	3.2	5.4	5.6
令和3年 (1,716)	68.9	18.7	1.7	5.6	5.0
令和2年 (2,273)	60.4	20.1	2.0	9.7	7.8

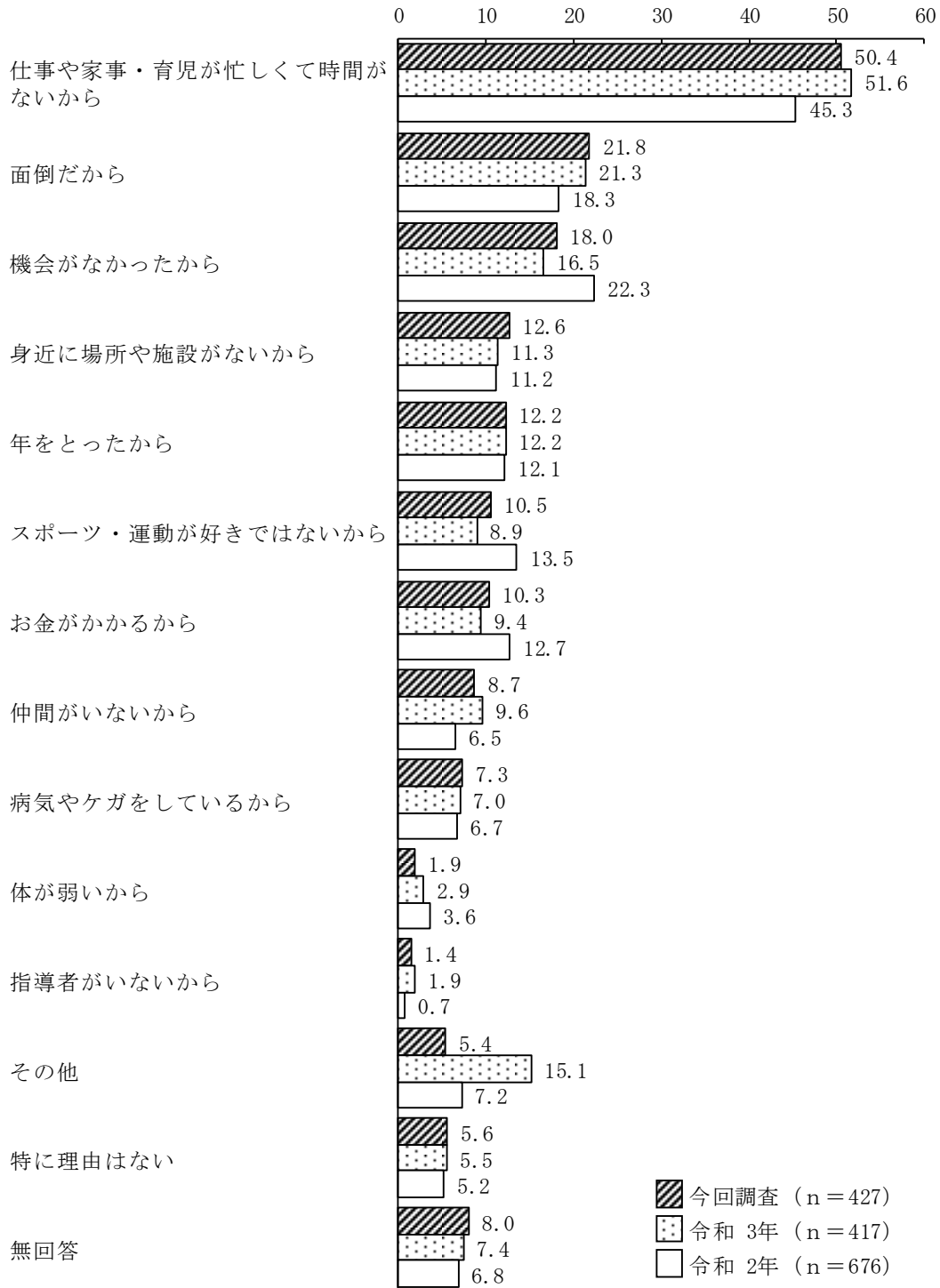
(注1) 『週に1日以上実施』は「週3日以上」「週に2日」「週に1日」の合計  
 『週に1日未満実施』は「月に1～3日」「3ヶ月に1～2日」「年に1～3日」の合計  
 (注2) 令和3年は「都民のスポーツ活動に関する実態調査(令和3年10月調査)」  
 令和2年は「都民生活に関する世論調査(令和2年9月調査)」

(6) スポーツ・運動を実施した頻度が週1日に満たなかった理由：

この1年間に「スポーツや運動はしなかった」または、「週に1日未満」と答えた人(427人)に、その理由を聞いた。(M. A.)

(本文P41～P43)

- ・「仕事や家事・育児が忙しくて時間がないから」が50%でトップ(令和3年より1ポイント減少)
- ・「面倒だから」22%、「機会がなかったから」18%が続く



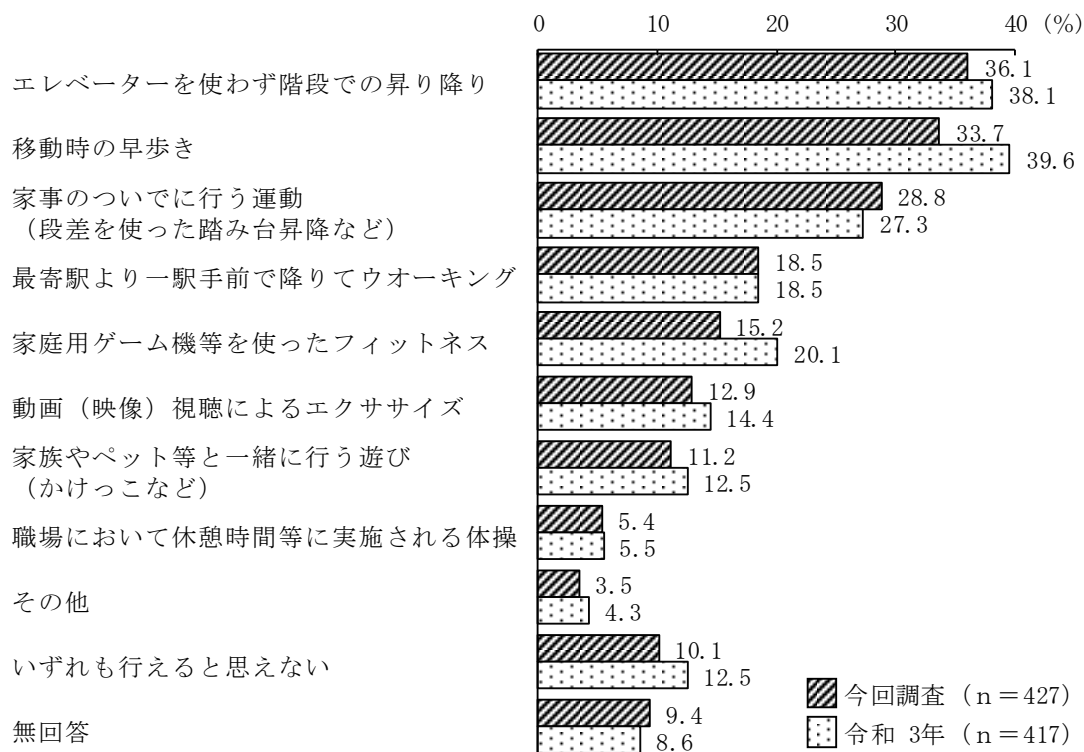
(注) 令和3年は「都民のスポーツ活動に関する実態調査(令和3年10月調査)」  
 令和2年は「都民生活に関する世論調査(令和2年9月調査)」

(7) スポーツ・運動をより頻繁に行える可能性：

この1年間に「スポーツや運動はしなかった」または、「週に1日未満」と答えた人(427人)に、今後どのようなスポーツ・運動であれば(より頻繁に)行える可能性があるか聞いた。(M. A.)

(本文P44～P46)

- ・「エレベーターを使わず階段での昇り降り」が36%でトップ(令和3年より2ポイント減少)
- ・「移動時の早歩き」34%、「家事的ついでに行う運動(段差を使った踏み台昇降など)」29%が続く



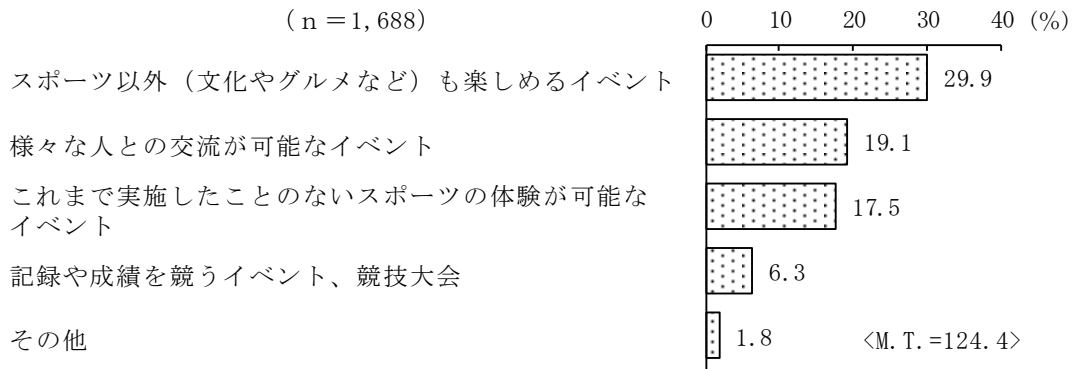
(注) 令和3年は「都民のスポーツ活動に関する実態調査(令和3年10月調査)」

(8) 今後のスポーツイベント、大会への参加意向：

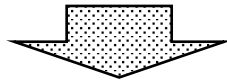
今後、どのようなスポーツイベント、大会に参加したいと思うか聞いた。(M. A.)

(本文 P 47～P 49)

- ・「スポーツ以外（文化やグルメなど）も楽しめるイベント」が 30% でトップ
- ・「様々な人との交流が可能なイベント」19%、「これまで実施したことのないスポーツの体験が可能なイベント」18%が続く

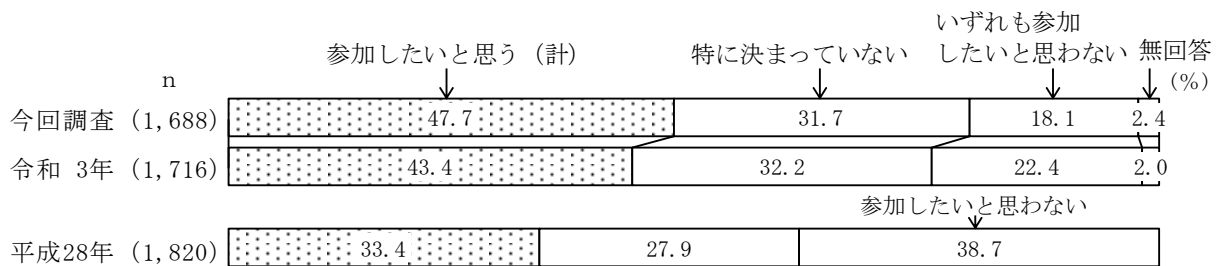


〔 上記選択肢を答えた人を『参加したいと思う（計）』とし、「特に決まっていない」、「いずれも参加したいと思わない」と答えた人との比率をみると以下の通り。 〕



[今後のスポーツイベント、大会への参加意向の有無]

- ・『参加したいと思う（計）』は 48%（令和 3 年より 4 ポイント増加）
- ・「いずれも参加したいと思わない」は 18%（令和 3 年より 4 ポイント減少）



(注 1) 「いずれも参加したいと思わない」は平成 28 年までは「参加したいと思わない」

(注 2) 『参加したいと思う（計）』は「特に決まっていない」「いずれも参加したいと思わない」以外の選択肢を選んだ人の割合

(注 3) 令和 3 年は「都民のスポーツ活動に関する実態調査（令和 3 年 10 月調査）」

平成 28 年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査（平成 28 年 9 月調査）」

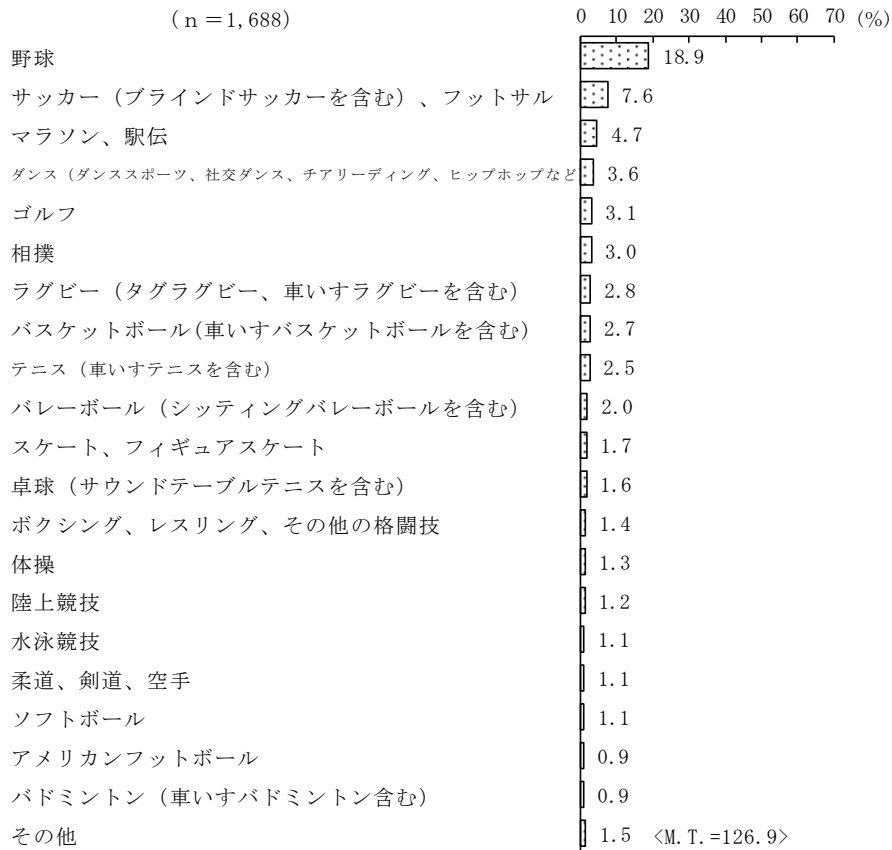
### 3 みるスポーツ

#### (1) この1年間に実際に観戦したスポーツ：

この1年間にスタジアム・体育館・浴道などで実際に観戦したスポーツの種目を聞いた。(M. A.)  
(本文 P 50～ P 54)

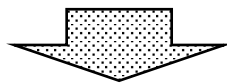
・「野球」が19%でトップ

・「サッカー（ブラインドサッカーを含む）、フットサル」8%、「マラソン、駅伝」5%が続く



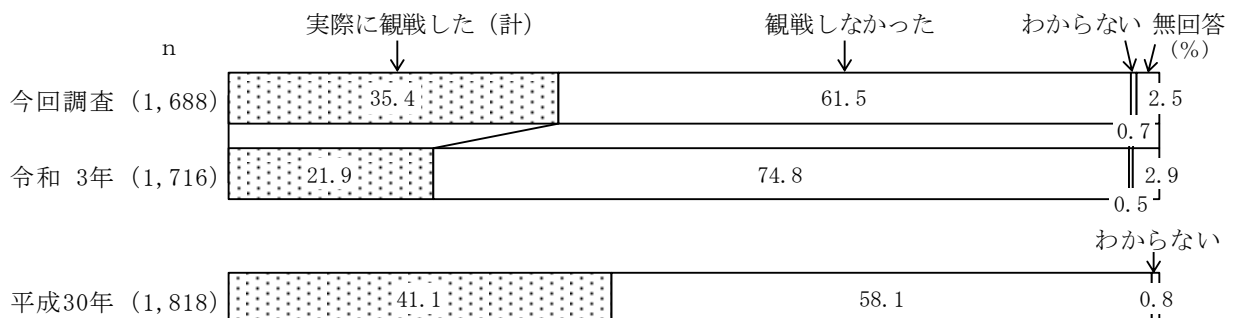
（ 上記選択肢を答えた人を『実際に観戦した（計）』とし、  
「観戦しなかった」と答えた人との比率をみると以下の通り。 ）

#### [この1年間のスポーツ観戦の有無]



・『実際に観戦した（計）』は35%（令和3年より14ポイント増加）

・「観戦しなかった」は62%（令和3年より13ポイント減少）



(注1) 『実際に観戦した（計）』は「観戦しなかった」「わからない」以外の選択肢を選んだ人の割合

(注2) 令和3年は「都民のスポーツ活動に関する実態調査（令和3年10月調査）」

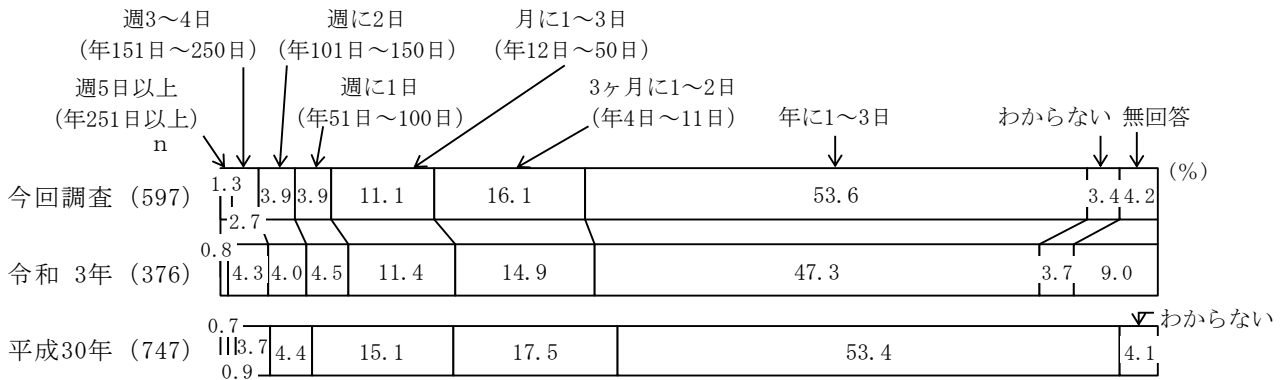
平成30年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査（平成30年9月調査）」

(2) 実際にスポーツを観戦した日数：

この1年間に実際にスポーツを観戦したことがあると答えた人（597人）に、スポーツを観戦した日数を聞いた。

（本文P55～P58）

- ・「年に1～3日」が54%でトップ（令和3年より6ポイント増加）
- ・「3ヶ月に1～2日（年4日～11日）」16%、「月に1～3日（年12日～50日）」11%が続く



(注) 令和3年は「都民のスポーツ活動に関する実態調査（令和3年10月調査）」

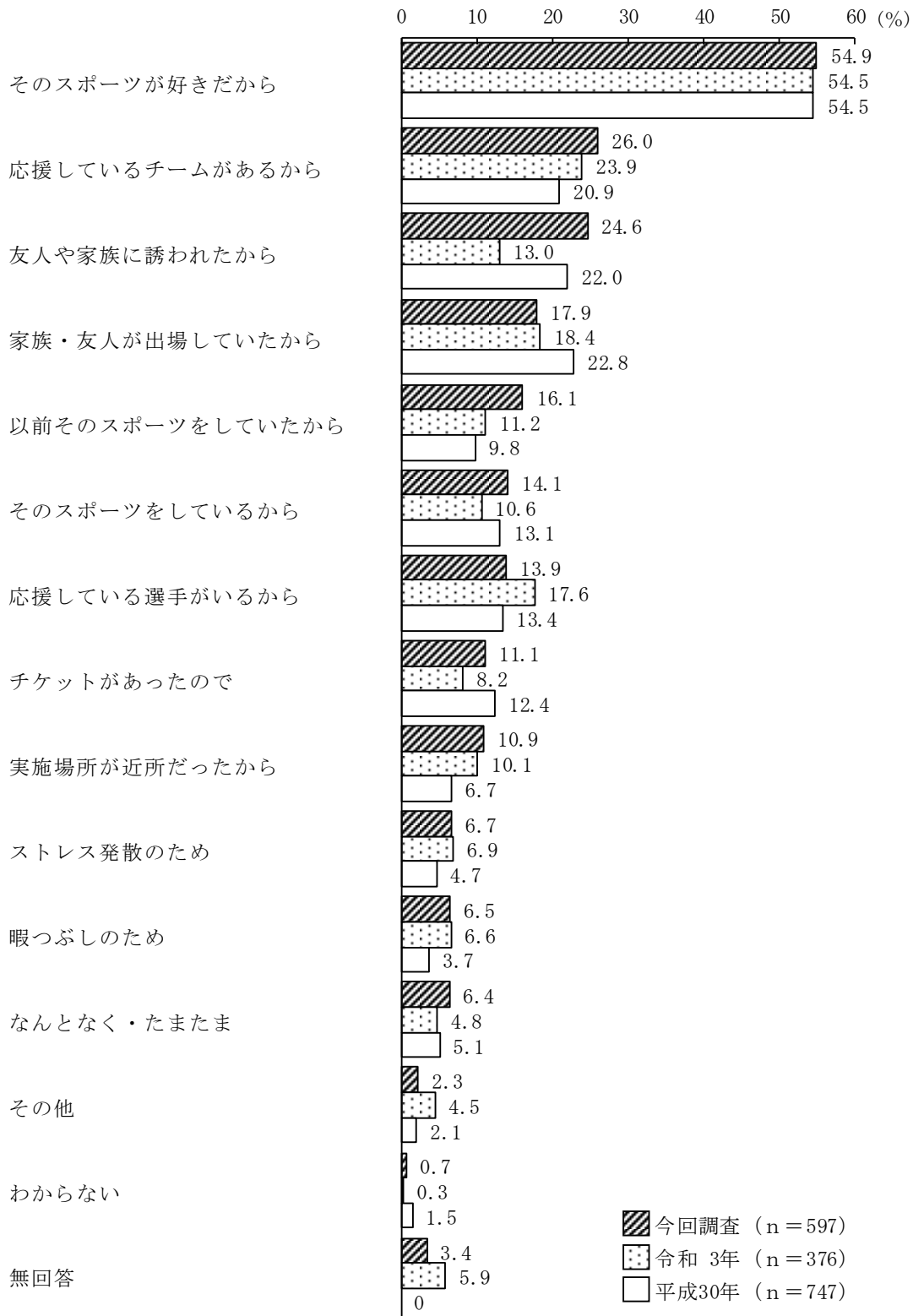
平成30年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査（平成30年9月調査）」

(3) スポーツを観戦した理由：

この1年間に実際にスポーツを観戦したことがあると答えた人（597人）に、観戦した理由を聞いた。（M. A.）

（本文P59～P61）

- ・「そのスポーツが好きだから」が55%でトップ（令和3年とほぼ同様）
- ・「応援しているチームがあるから」26%、「友人や家族に誘われたから」25%が続く



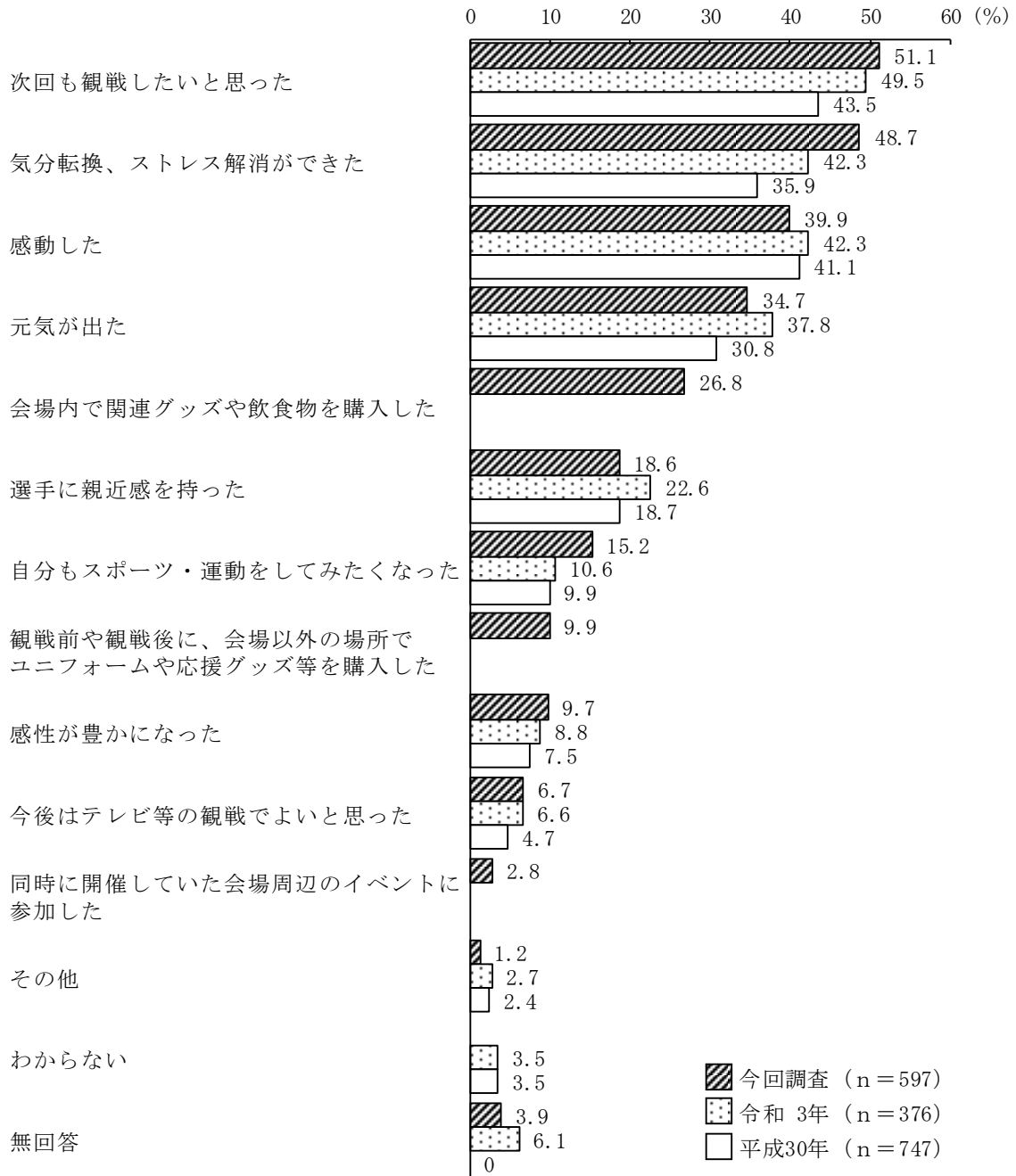
(注) 令和3年は「都民のスポーツ活動に関する実態調査（令和3年10月調査）」  
 平成30年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査（平成30年9月調査）」

(4) スポーツを実際に観戦して感じたことや行ったこと：

この1年間に実際にスポーツを観戦したことがあると答えた人（597人）に、実際に観戦して感じたことや行ったことを聞いた。（M. A.）

（本文P62～P64）

- ・「次日も観戦したいと思った」が51%でトップ（令和3年より2ポイント増加）
- ・「気分転換、ストレス解消ができた」49%、「感動した」40%が続く



(注1) 令和3年までの質問文は「あなたは、スポーツを実際に観戦して、テレビ等観戦と比較してどのようなことを強く感じましたか。」

(注2) 「会場内で関連グッズや飲食物を購入した」「観戦前や観戦後に、会場以外の場所でユニフォームや応援グッズ等を購入した」「同時に開催していた会場周辺のイベントに参加した」は今回調査から追加

(注3) 令和3年は「都民のスポーツ活動に関する実態調査（令和3年10月調査）」

平成30年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査（平成30年9月調査）」



(5) スポーツを実際に観戦してみようと思う取組・工夫：

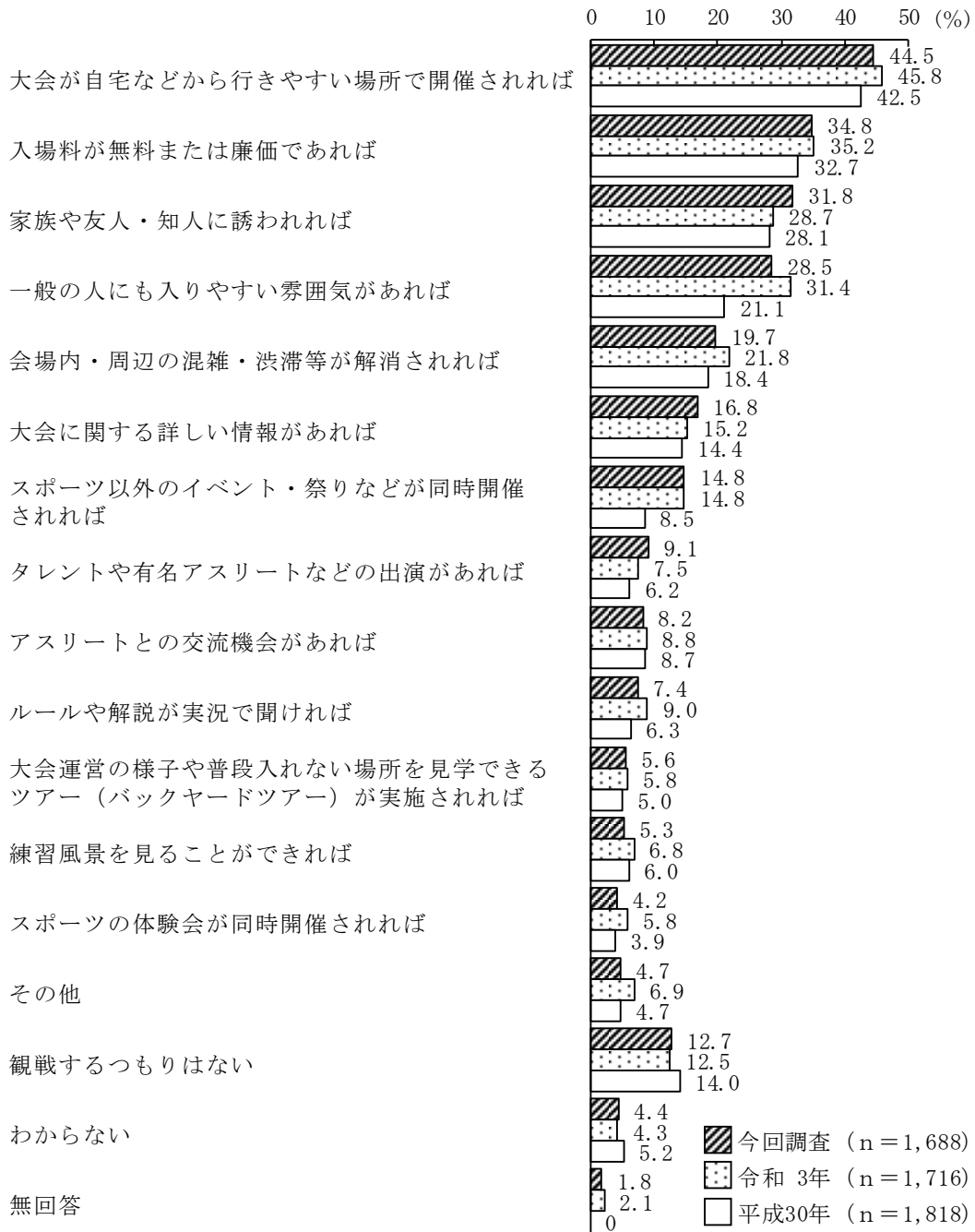
どのような取組・工夫があればスポーツを実際に（さらに）観戦してみようと思うか聞いた。

(M. A.)

(本文 P65～P67)

・「大会が自宅などから行きやすい場所で開催されれば」が 45% でトップ（令和 3 年より 1 ポイント減少）

・「入場料が無料または廉価であれば」35%、「家族や友人・知人に誘われれば」32%が続く



(注) 令和 3 年は「都民のスポーツ活動に関する実態調査（令和 3 年 10 月調査）」

平成 30 年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査（平成 30 年 9 月調査）」

(6) この1年間にテレビ・ラジオ・インターネット配信等で観戦したスポーツ：

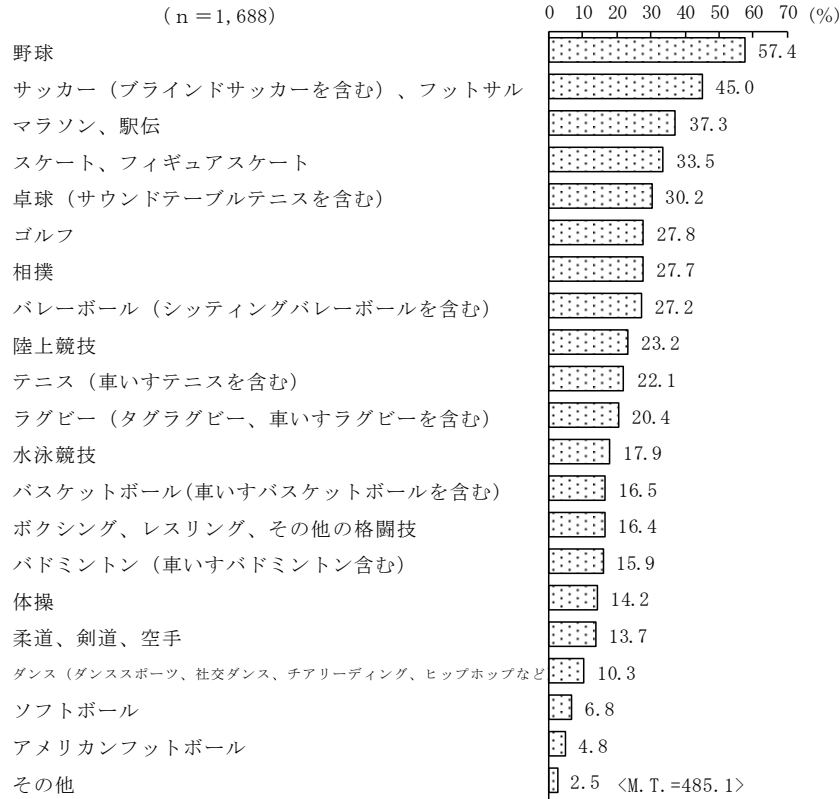
この1年間にテレビ・ラジオ・インターネット配信等で観戦したスポーツの種目を聞いた。

(M. A.)

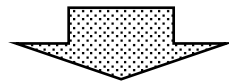
(本文P68～P71)

・「野球」が57%でトップ

・「サッカー（ブラインドサッカーを含む）、フットサル」45%、「マラソン、駅伝」37%が続く



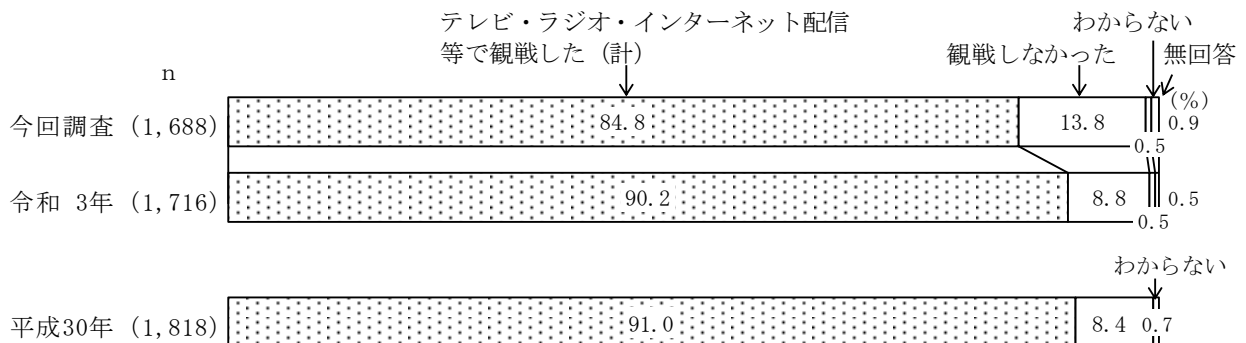
〔上記選択肢を答えた人を『テレビ・ラジオ・インターネット配信等で観戦した（計）』とし、「観戦しなかった」と答えた人との比率をみると以下の通り。〕



〔この1年間のテレビ・ラジオ・インターネット配信等での観戦の有無〕

・『テレビ・ラジオ・インターネット配信等で観戦した（計）』は85%（令和3年より5ポイント減少）

・「観戦しなかった」は14%（令和3年より5ポイント増加）



(注1) 『テレビ・ラジオ・インターネット配信等での観戦した（計）』は「観戦しなかった」「わからない」以外の選択肢を選んだ人の割合

(注2) 令和3年は「都民のスポーツ活動に関する実態調査（令和3年10月調査）」

平成30年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査（平成30年9月調査）」

(7) テレビ・ラジオ・インターネット配信等でスポーツを観戦した日数：

テレビ・ラジオ・インターネット配信等でスポーツを観戦したことがあると答えた人（1,431人）に、スポーツを観戦した日数を聞いた。

（本文P72～P73）

- ・「月に1～3日（年12日～50日）」が22%でトップ（令和3年より3ポイント増加）
- ・「3ヶ月に1～2日（年4日～11日）」14%、「週に1日（年51日～100日）」13%が続く

n	週5日以上 (年251日以上)		週3～4日 (年151日～250日)	週に2日 (年101日～150日)	週に1日 (年51日～100日)	月に1～3日 (年12日～50日)	3ヶ月に1～2日 (年4日～11日)	年に1～3日	わからない	無回答	(%)
	5.1	11.3	12.6	13.2	22.4	13.7	12.6	6.1	2.9		
今回調査 (1,431)	5.1	11.3	12.6	13.2	22.4	13.7	12.6	6.1	2.9		
令和3年 (1,548)	6.3	12.1	13.7	14.0	19.8	10.4	11.3	7.5	4.9		
平成30年 (1,654)	7.6	13.4	15.7	17.8	22.3	9.6	8.9	4.8			

(注) 令和3年は「都民のスポーツ活動に関する実態調査（令和3年10月調査）」

平成30年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査（平成30年9月調査）」

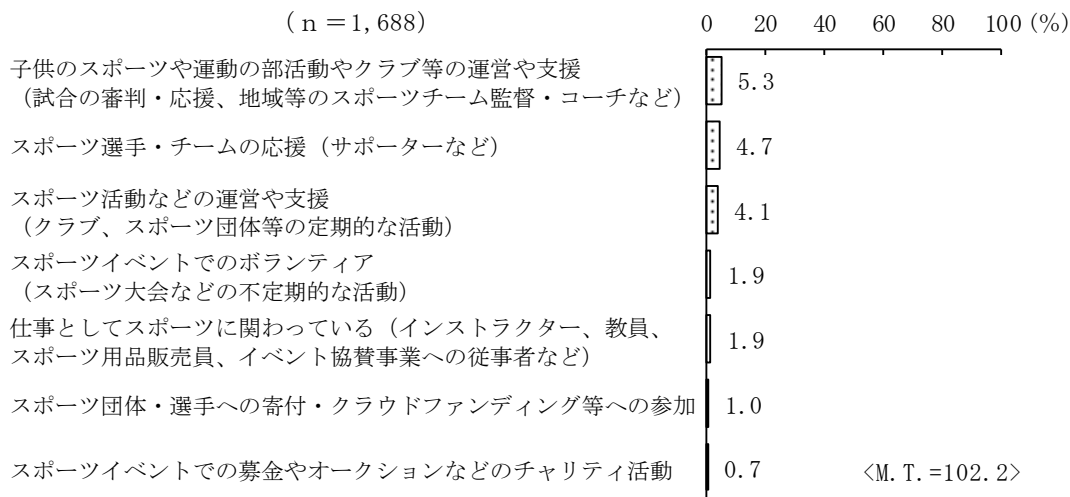
## 4 支えるスポーツ

### (1) この1年間に関わったスポーツを支える活動：

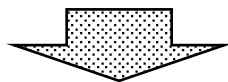
この1年間に関わったスポーツを支える活動を聞いた。(M. A.)

(本文P74～P77)

- ・「子供のスポーツや運動の部活動やクラブ等の運営や支援（試合の審判・応援、地域等のスポーツチーム監督・コーチなど）」と「スポーツ選手・チームの応援（サポーターなど）」が5%
- ・「スポーツ活動などの運営や支援（クラブ、スポーツ団体等の定期的な活動）」4%が続く

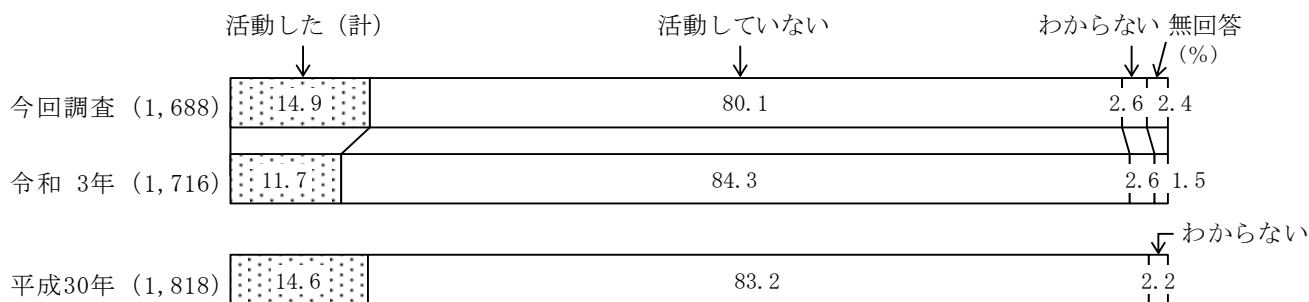


〔 上記選択肢を答えた人を『活動した (計)』とし、  
「活動していない」と答えた人との比率をみると以下の通り。 〕



### 〔この1年間に関わったスポーツを支える活動の有無〕

- ・『活動した (計)』は 15% (令和3年より3ポイント増加)
- ・「活動していない」は 80% (令和3年より4ポイント減少)



(注1) 『活動した (計)』は「活動していない」「わからない」以外の選択肢を選んだ人の割合

(注2) 令和3年は「都民のスポーツ活動に関する実態調査 (令和3年10月調査)」

平成30年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査 (平成30年9月調査)」

(2) スポーツを支える活動を行った日数：

スポーツを支える活動を行ったと答えた人（252人）に、活動を行った日数を聞いた。

（本文P78～P82）

- ・「年に1～3日」が25%でトップ（令和3年より10ポイント増加）
- ・「月に1～3日（年12日～50日）」18%、「3ヶ月に1～2日（年4日～11日）」15%が続く

	週5日以上 n (年251日以上)		週3～4日 (年151日～250日)	週に2日 (年101日～150日)	週に1日 (年51日～100日)	月に1～3日 (年12日～50日)	3ヶ月に1～2日 (年4日～11日)	年に1～3日	わからない	無回答 (%)
今回調査 (252)	5.6	6.3	12.7	13.5	17.9	14.7	25.4	2.0	2.0	
令和3年 (200)	4.0	8.0	11.5	13.0	17.0	12.5	15.0	2.0	17.0	
平成30年 (266)	3.4	8.6	10.9	12.8	21.8	14.7	24.8	3.0		わからない

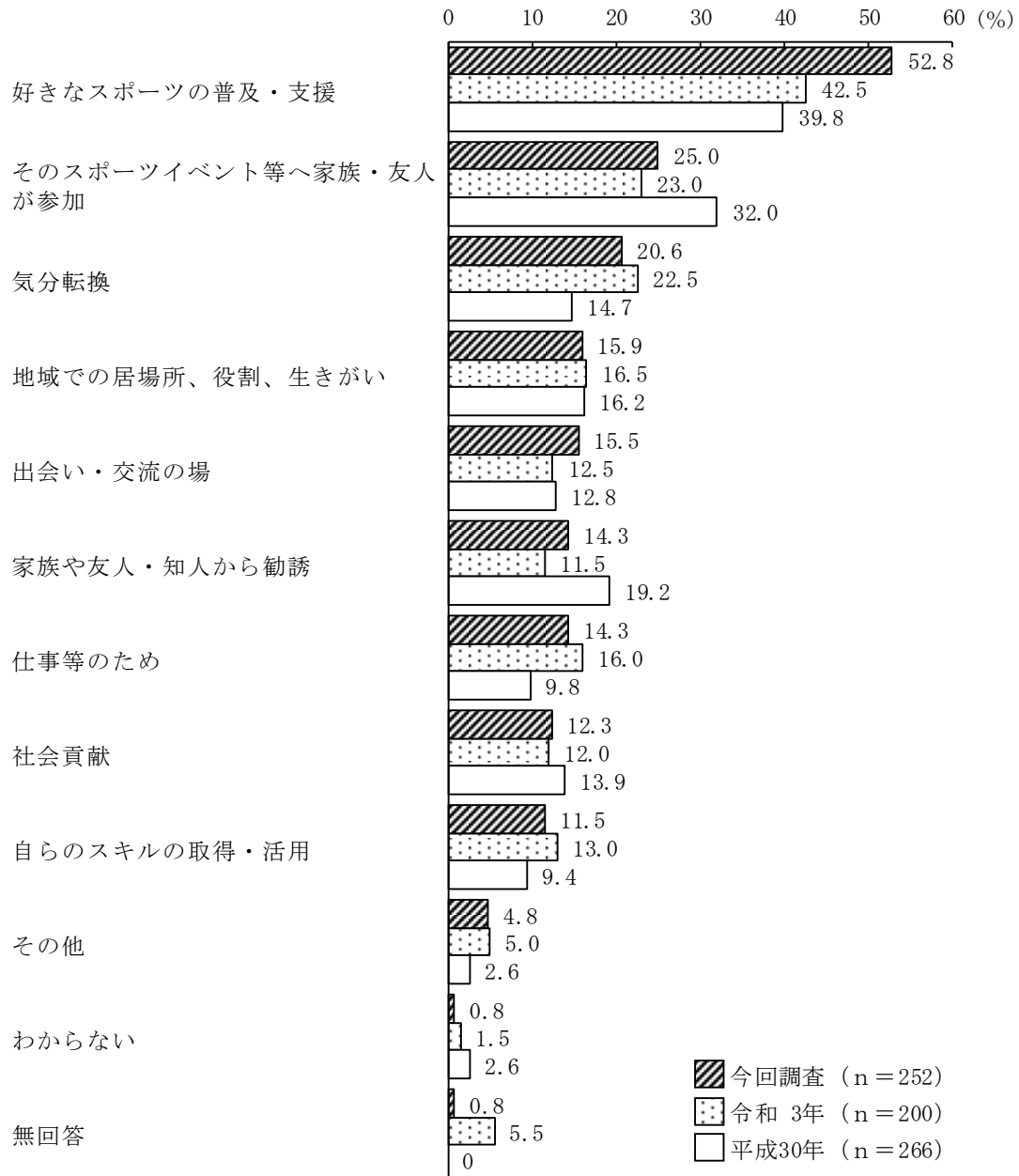
(注) 令和3年は「都民のスポーツ活動に関する実態調査（令和3年10月調査）」

平成30年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査（平成30年9月調査）」

(3) スポーツを支える活動を行った理由：

スポーツを支える活動を行ったと答えた人（252人）に、活動を行った理由を聞いた。（M. A.）  
 （本文P83～P86）

- ・「好きなスポーツの普及・支援」が53%でトップ（令和3年より10ポイント増加）
- ・「そのスポーツイベント等へ家族・友人が参加」25%、「気分転換」21%が続く



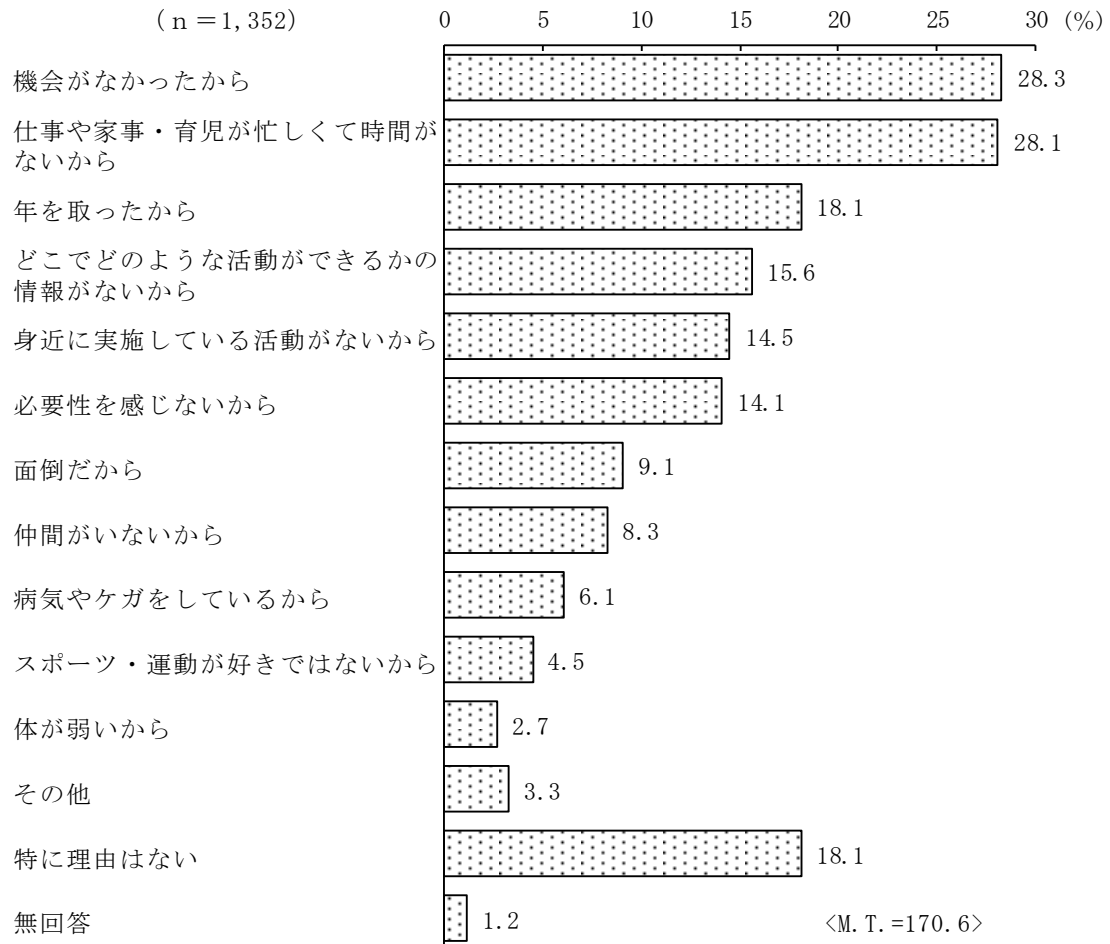
(注) 令和3年は「都民のスポーツ活動に関する実態調査（令和3年10月調査）」  
 平成30年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査（平成30年9月調査）」

(4) スポーツを支える活動を行わなかった理由：

スポーツを支える活動をしていないと答えた人（1,352人）に、活動を行わなかった理由を聞いた。（M. A.）

（本文 P87～P90）

- ・「機会がなかったから」と「仕事や家事・育児が忙しくて時間がないから」が28%
- ・「年を取ったから」18%が続く

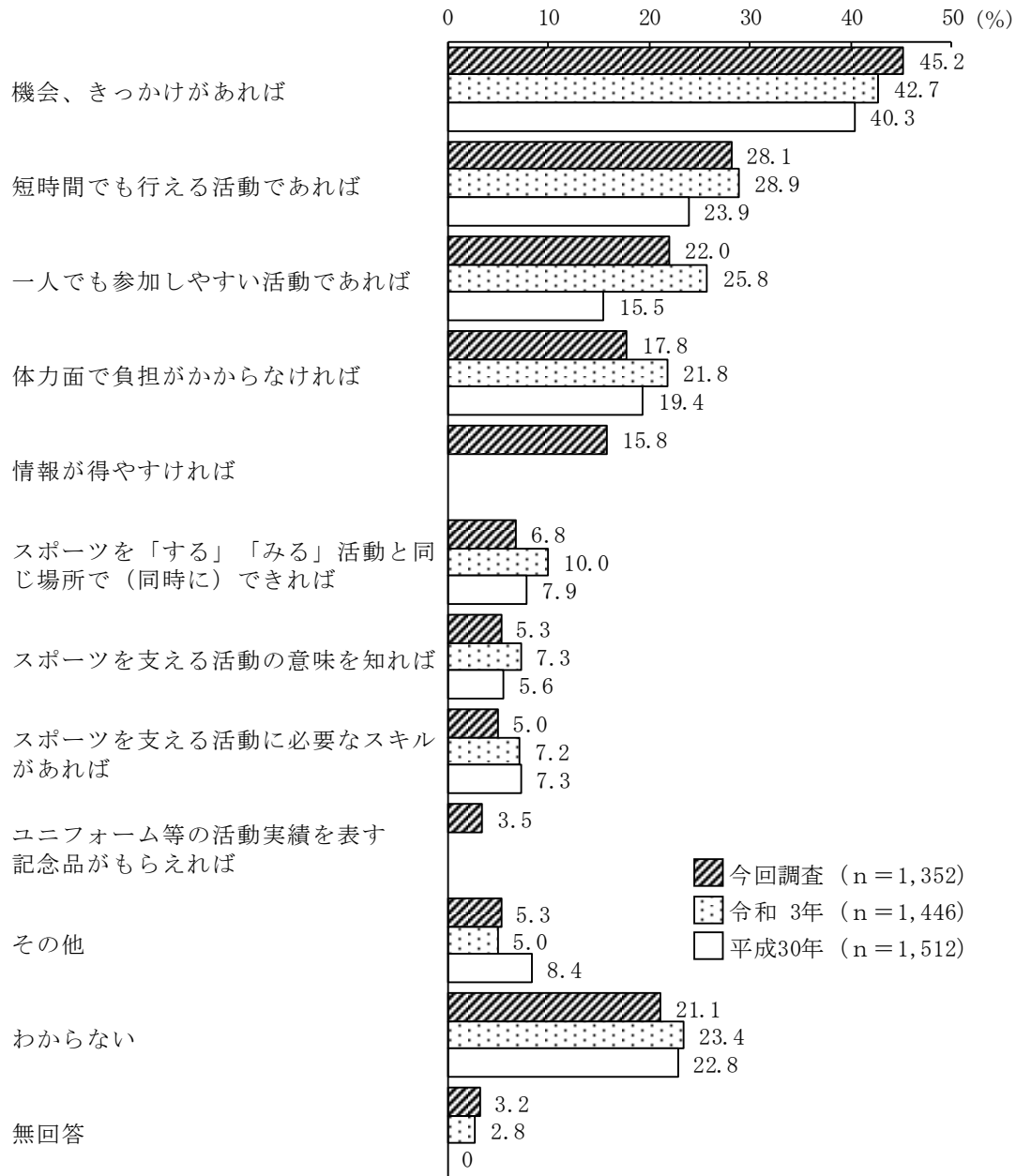


(5) スポーツを支える活動を行える、活動する人を増やせると思う環境：

スポーツを支える活動をしていないと答えた人（1,352人）に、どのような環境を整えば、スポーツを支える活動を行える、また活動する人を増やせると思うか聞いた。（M. A.）

（本文 P91～P94）

- ・「機会、きっかけがあれば」が45%でトップ（令和3年より3ポイント増加）
- ・「短時間でも行える活動であれば」28%、「一人でも参加しやすい活動であれば」22%が続く



(注1) 「情報が得やすければ」「ユニフォーム等の活動実績を表す記念品がもらえれば」は今回調査から追加

(注2) 令和3年は「都民のスポーツ活動に関する実態調査（令和3年10月調査）」

平成30年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査（平成30年9月調査）」

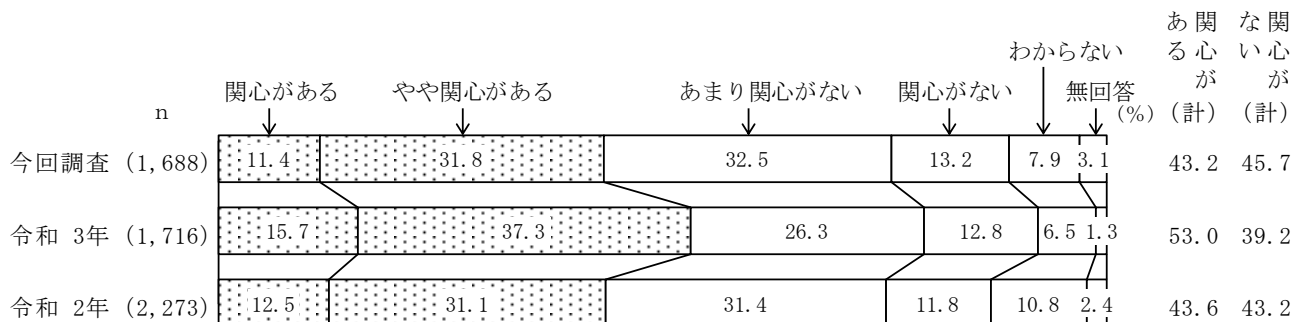


## 5 パラスポーツ（障害者スポーツ）への関心度等

(1) パラスポーツへの関心度：パラスポーツへの関心度を聞いた。

(本文 P95～P100)

- ・『関心がある（計）』は43%（令和3年より10ポイント減少）
- ・『関心がない（計）』は46%（令和3年より7ポイント増加）



(注1) 『関心がある（計）』は「関心がある」「やや関心がある」の合計

『関心がない（計）』は「関心がない」「あまり関心がない」の合計

(注2) 令和3年は「都民のスポーツ活動に関する実態調査（令和3年10月調査）」

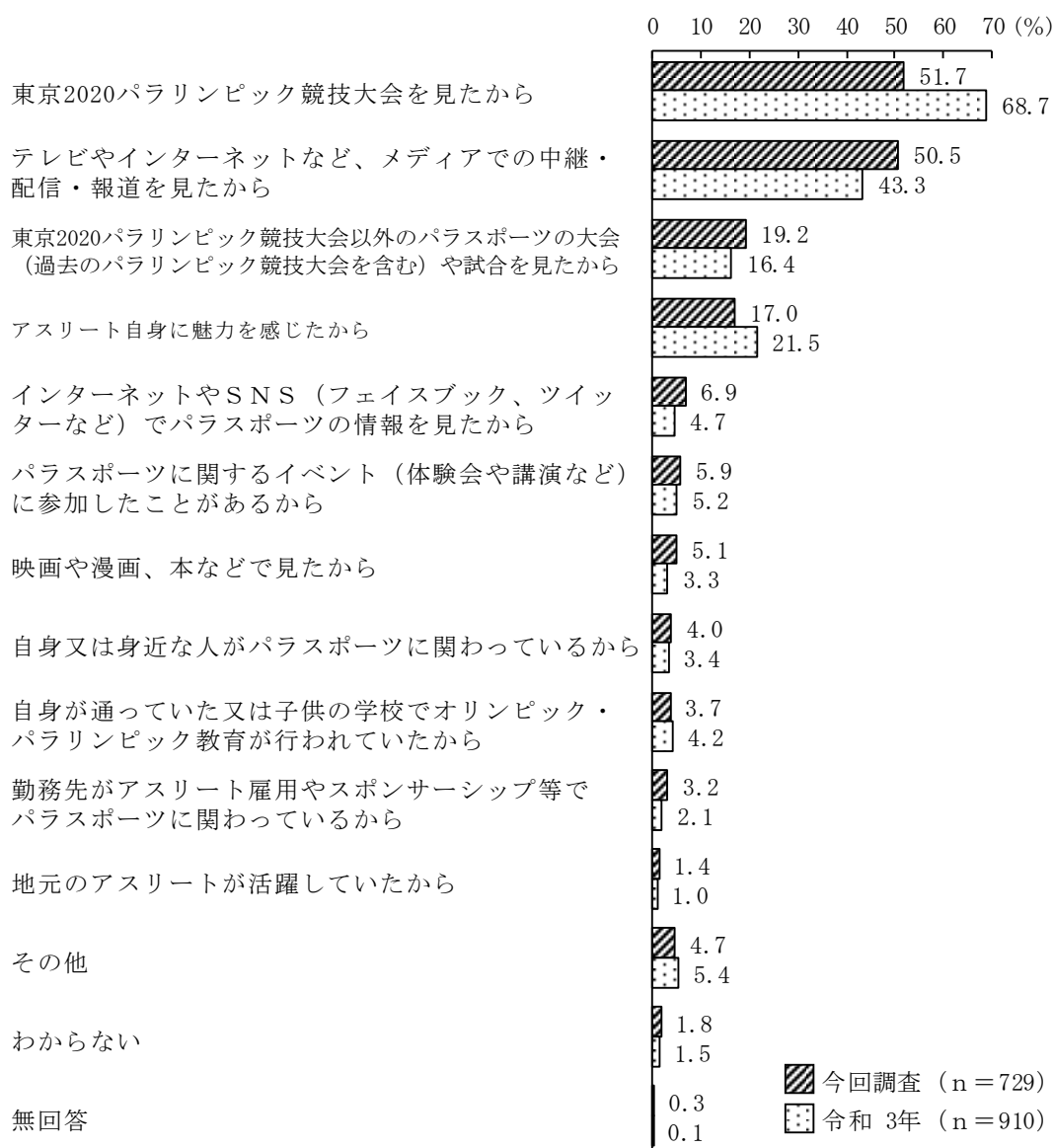
令和2年は「都民生活に関する世論調査（令和2年9月調査）」

(2) パラスポーツに関心を持ったきっかけ：

パラスポーツに関心があると答えた人（729人）に、パラスポーツに関心を持ったきっかけを聞いた。（M. A.）

（本文P101～P103）

- ・「東京2020パラリンピック競技大会を見たから」が52%でトップ（令和3年より17ポイント減少）
- ・「テレビやインターネットなど、メディアでの中継・配信・報道を見たから」51%、「東京2020パラリンピック競技大会以外のパラスポーツの大会（過去のパラリンピック競技大会を含む）や試合を見たから」19%が続く



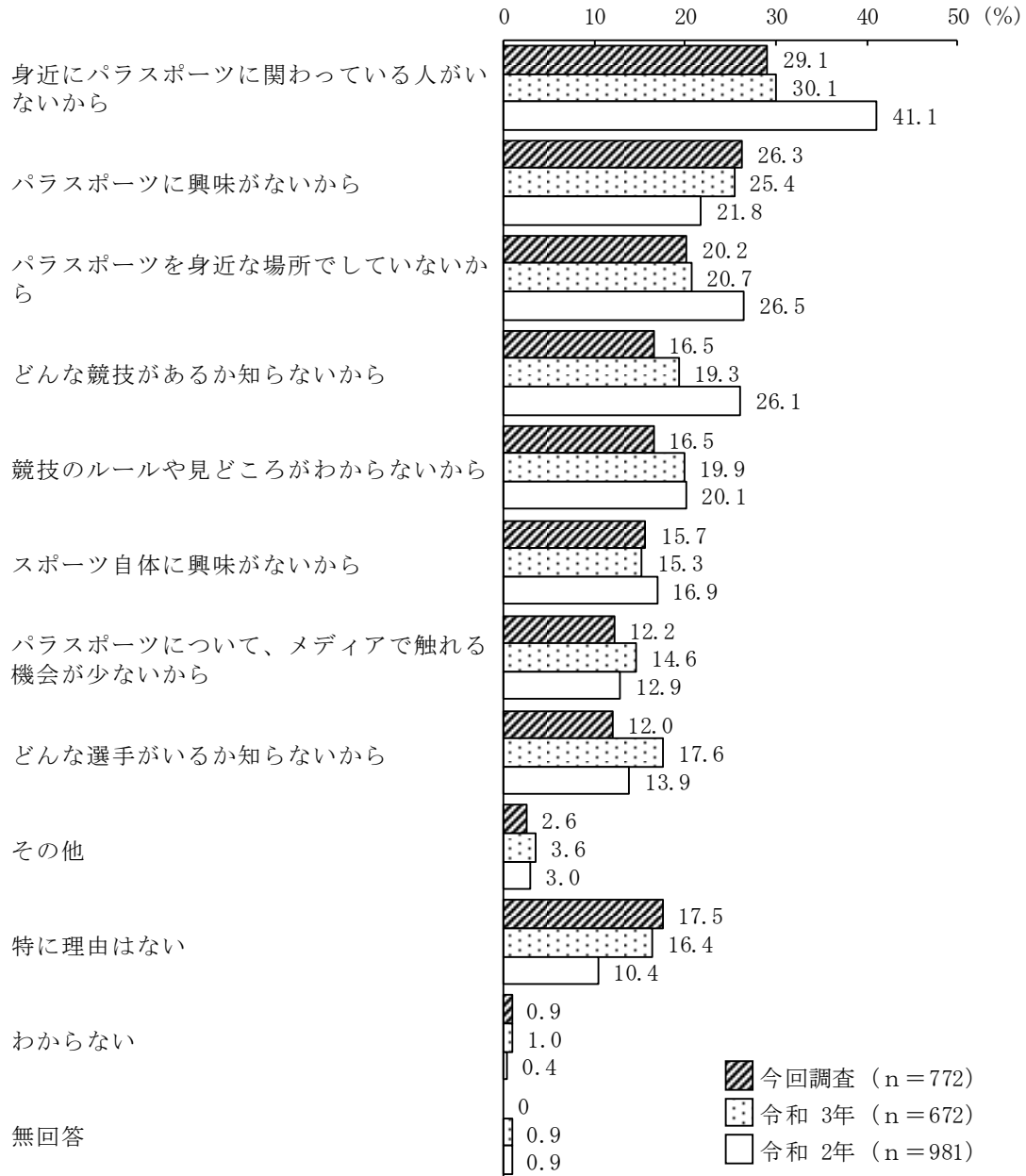
（注）令和3年は「都民のスポーツ活動に関する実態調査（令和3年10月調査）」

(3) パラスポーツに関心がない理由：

パラスポーツに関心がないと答えた人（772人）に、関心がない理由を聞いた。（M. A.）

（本文P104～P106）

- ・「身近にパラスポーツに関わっている人がいないから」が29%でトップ（令和3年より1ポイント減少）
- ・「パラスポーツに興味がないから」26%、「パラスポーツを身近な場所ではないから」20%が続く



(注) 令和3年は「都民のスポーツ活動に関する実態調査（令和3年10月調査）」

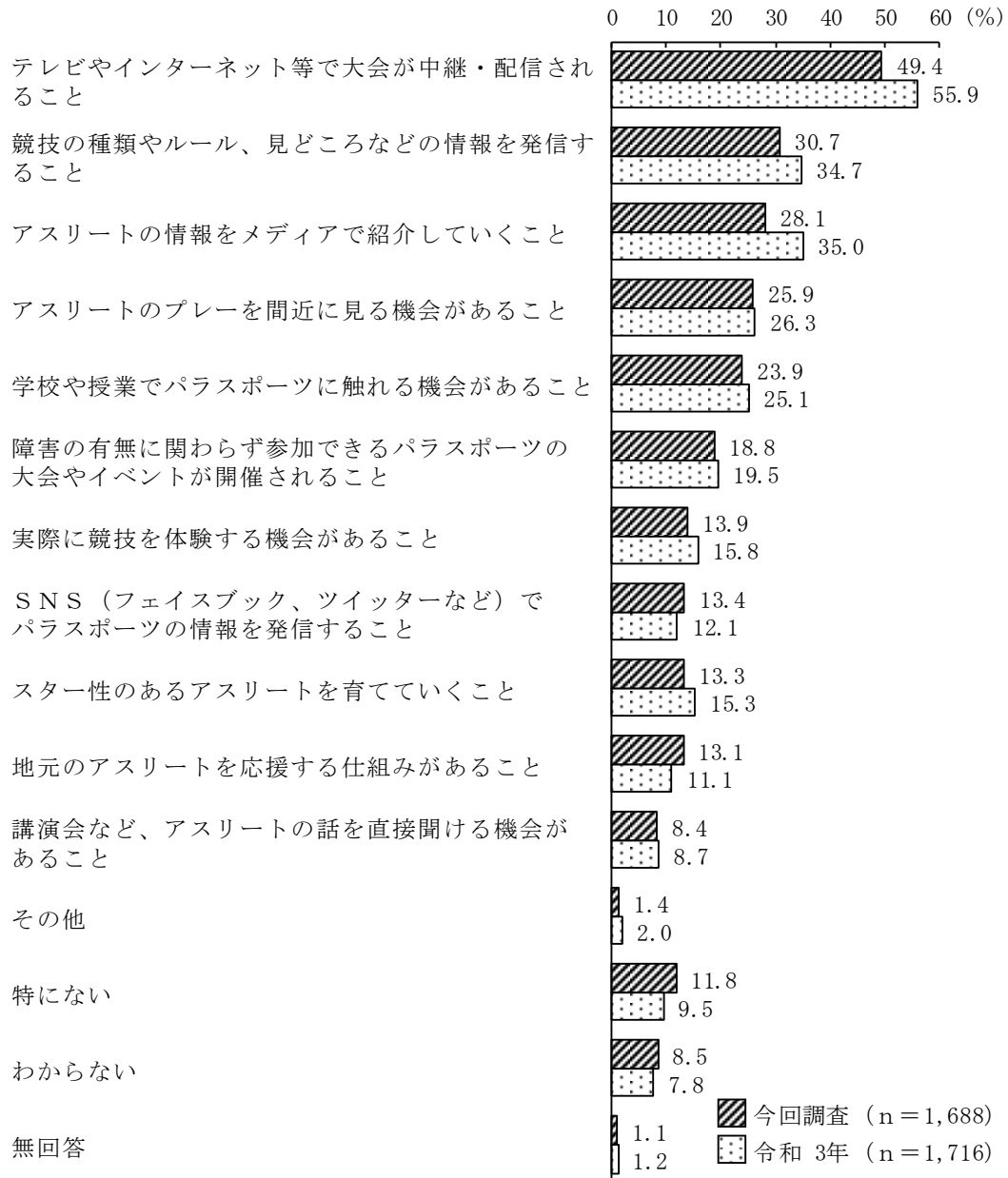
令和2年は「都民生活に関する世論調査（令和2年9月調査）」

(4) パラスポーツへの関心が高まる取組：

どのような取組があればパラスポーツへの関心が高まると思うか聞いた。(M. A.)

(本文P107～P110)

- ・「テレビやインターネット等で大会が中継・配信されること」が49%でトップ（令和3年より7ポイント減少）
- ・「競技の種類やルール、見どころなどの情報を発信すること」31%、「アスリートの情報をメディアで紹介していくこと」28%が続く



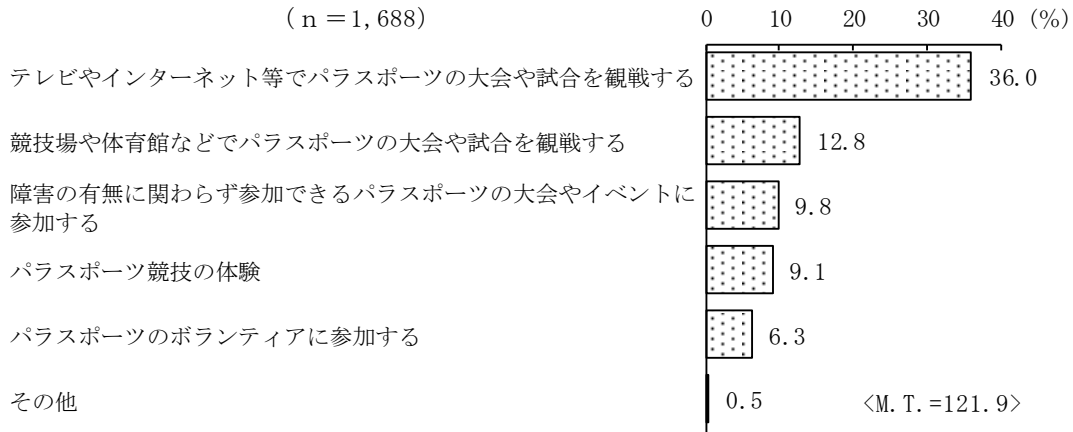
(注) 令和3年は「都民のスポーツ活動に関する実態調査（令和3年10月調査）」

(5) パラスポーツへの関わり意向：

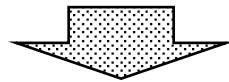
これからどのようにパラスポーツに関わってみたいと思うか聞いた。(M. A.)

(本文P111～P114)

- ・「テレビやインターネット等でパラスポーツの大会や試合を観戦する」が36%でトップ
- ・「競技場や体育館などでパラスポーツの大会や試合を観戦する」13%、「障害の有無に関わらず参加できるパラスポーツの大会やイベントに参加する」10%が続く

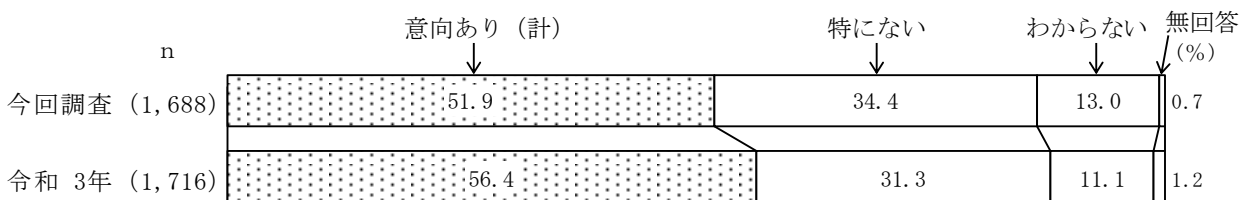


〔 上記選択肢を答えた人を『意向あり (計)』とし、「特にない」と答えた人との比率をみると以下の通り。 〕



[パラスポーツへの関わり意向の有無]

- ・『意向あり (計)』は52% (令和3年より5ポイント減少)
- ・「特にない」は34% (令和3年より3ポイント増加)



(注1) 『意向あり (計)』は「特にない」「わからない」以外の選択肢を選んだ人の割合

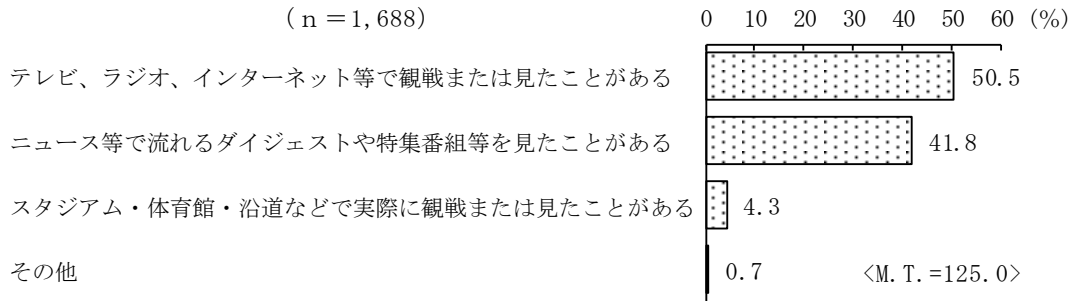
(注2) 令和3年は「都民のスポーツ活動に関する実態調査 (令和3年10月調査)」

(6) パラスポーツやパラリンピック競技を観戦または見た経験：

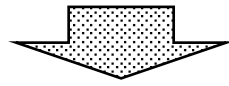
これまでにパラスポーツやパラリンピック競技を観戦または見た経験について聞いた。(M. A.)

(本文P115～P117)

- ・「テレビ、ラジオ、インターネット等で観戦または見たことがある」が51%でトップ
- ・「ニュース等で流れるダイジェストや特集番組等を見たことがある」42%、「スタジアム・体育館・沿道などで実際に観戦または見たことがある」4%が続く

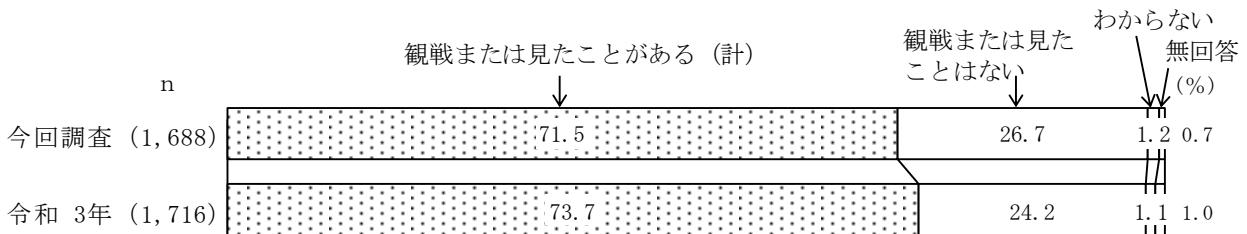


〔上記選択肢を答えた人を『観戦または見たことがある (計)』とし、「観戦または見たことがない」と答えた人との比率をみると以下の通り。〕



〔これまでにパラスポーツやパラリンピック競技を観戦または見た経験の有無〕

- ・『観戦または見たことがある (計)』は72% (令和3年より2ポイント減少)
- ・「観戦または見たことはない」は27% (令和3年より3ポイント増加)



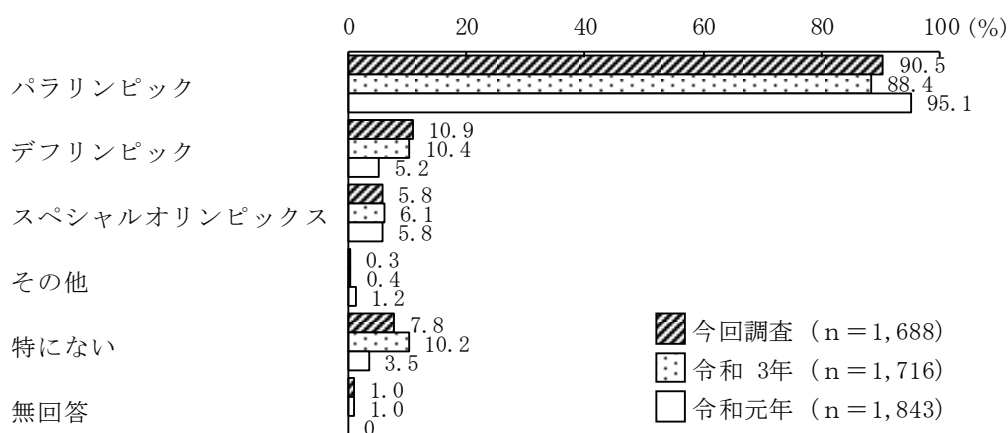
(注1) 『観戦または見たことがある (計)』は「観戦または見たことはない」「わからない」以外の選択肢を選んだ人の割合

(注2) 令和3年は「都民のスポーツ活動に関する実態調査 (令和3年10月調査)」

(7) パラスポーツの国際大会の認知度：パラスポーツの国際大会の認知度を聞いた。(M. A.)

(本文P118～P119)

- ・「パラリンピック」が91%でトップ（令和3年より2ポイント増加）
- ・「デフリンピック」11%、「スペシャルオリンピックス」6%が続く



(注) 令和3年は「都民のスポーツ活動に関する実態調査（令和3年10月調査）」

令和元年は「オリンピック・パラリンピック開催、障害者スポーツに関する世論調査（令和元年11月調査）」

(8) 東京都が行うパラスポーツイベントの認知度：

東京都が行うパラスポーツイベントの認知度を聞いた。(M. A.)

(本文P120～P121)

- ・認知されているイベントのうち、「TOKYO パラスポーツ月間（東京2020パラリンピック1周年記念イベント）」が10%でトップ
- ・「特別支援学校でのスポーツ体験教室」4%、「チャレスポ！TOKYO」3%が続く

